10Z40K-M01





さあ、ここから！

お子さまと
ご確認ください

家族で支える 巻き返し 成功術

「ゼミ」の先輩、保護者の方々に
受験生活を振り返ってもらいます。
ぜひご参考になさってください。





群馬県／高崎高校 合格
五味（ごみ） 裕貴（ゆうき） 先輩



奈良県／一条高校 合格
広原（ひろはら） 紗英（さえ） 先輩

進研ゼミ 中三受験講座

Benesse

はじめに

今の時期、どのご家庭でも保護者のかたの不安は高まります。

例年、今の時期は、保護者のかたの不安が高まる時期です。「データ1」は、高校生の保護者のかたに、中三の各月を振り返ってもらい、それぞれ不安度を5点満点できいたものの平均値です。秋に不安度が高まっていることがわかります。

本格受験モードへの切り替えに悩む時期。

もともと今の時期は、三者面談などで、志望校の絞り込みなどをする必要がある一方で、例年だと、行事や部活で、受験モードに入り切れない状況とのジレンマがあることも不安が高まる要因かと思います。またお子さまは生活リズムを崩しやすい時期でもあります。

加えて、中学校によっては休校もあり、授業などの進度がずれたり、オープンキャンパスなどに行けなかったりなどもあるかと思います。

なかなかお子さまも受験モードに入るのが難しい状況かもしれません。

どんな状況でもお子さまの受験勉強への原動力はご家庭、保護者のかたの力。

今年度は状況が違うものの、受験モードへの切り替えは、この時期の課題です。

そんな中、お子さまが受験モードに入るためには、目標が明確になることです。

その目標を見つける手助けは保護者のかたの力が必要ですし、また見つけた目標を保護者のかたも認めることで、お子さまの受験勉強への原動力となります。

受験に向け、心配はつきもの。
それでもお子さまの受験モードへの切り替えには
保護者のかた、ご家族のかたのサポートが重要。
今できるポイントを
次のページでまとめています。

Q 高校生の保護者のかたに振り返ってもらいました。

中三の1年間の各月の不安度は？





※各月不安の大きさを5段階で回答頂いた平均値。（5が最も不安度が高い）高校受験を終えた保護者のかた104名からの回答結果より（2016年／進研ゼミ調べ）

中3のご家庭の様子と保護者のかたが気をつけていたこと

昨年以前の保護者のかたの中3・夏以降の振り返りです。
状況は違いはありますが、お子さまのやる気を刺激するヒントもつまっています。

- 部活が終わり、勉強に身が入るかと思ったら、ダラダラ過ごし、口で言ってもわからないと思い、学校見学に連れ出しました。（埼玉／お子さまは女子）

ゼミより：一緒にインターネットで高校を検索しても楽しそうです。

- 夏休み中も忙しく、受験勉強らしいことはあまりしていませんでした。それでも自分のペースで、と思い見守っていました。ただ、親も子も規則正しい生活は心掛けました。あとは志望校が決まっていなかったので、今のレベルや、少し上のレベルを探してみるようアドバイスをしました。（千葉／お子さまは男子）

ゼミより：親から規則正しい生活を実践——最も説得力がありますね。

- 暑い日が続いたので、ダラダラする前の午前中に勉強するよう声かけ。また、3食の食事と早寝早起きの声かけは気をつけて生活リズムは崩さないようにとしていました。（東京／お子さまは男子）

ゼミより：「生活リズムがくるって」という声は多く見られます。保護者のかたのフォローのポイントですね。

今から
できること

／さあ、ここから！／

巻き返しのための保護者のかたのサポート3

お子さまがこれから、本格的な受験勉強の波にのれるには、保護者のかたの働きかけが重要です。そのポイントを3つにまとめました。

1 お子さま自らが、少しでも「高校」に興味をもつことが第一歩。そして、成功のもとです。



お子さまにとって未知の進路選択。

たとえ、普段は保護者のかたとの会話が少なくても、こと進路に関しては、どんなお子さまも保護者の意見を聞きたいもの。**保護者のかたご自身の体験からアドバイス**されるといいでしょう。

理想は、**高校見学や文化祭などで、お子さまが、「体感」**することです。

2 受験勉強はここから！都道府県の入試傾向に合わせた対策と内申対策を。

夏休み以降が、受験勉強本格スタートの絶好機です。

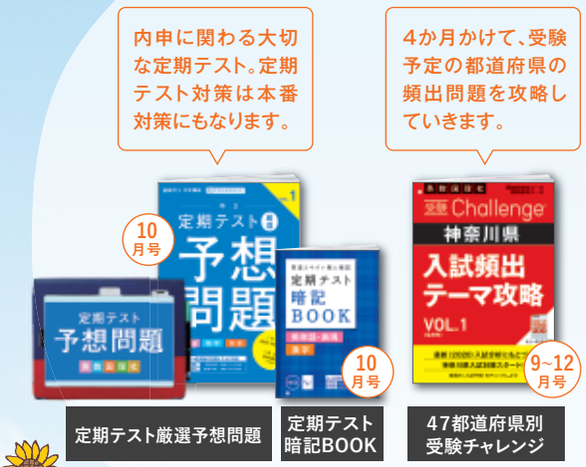
「ゼミ」では、9月号から、**受験予定の都道府県の入試傾向に合わせた〈受験チャレンジ〉をお届け**しています。

取り組むことで、入試頻出でありながら、ニガテな単元も浮き彫りになるはずです。

〈受験チャレンジ〉を受験勉強の柱にしていただくと「何から始めればいいかわからない」と迷うことはありません。

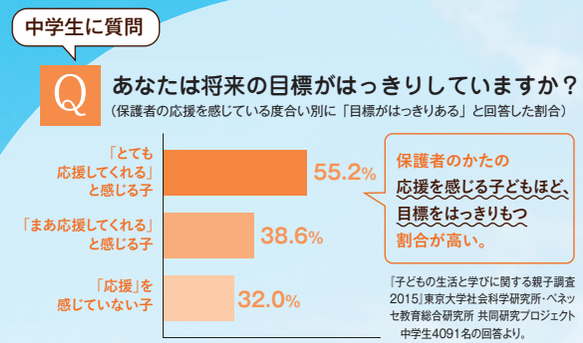
また**2学期の定期テストは内申点に関わる**ので大切です。

中3・2学期で習う範囲は入試でも頻出ですので、定期テスト対策は、入試本番の対策にもなります。お子さまが取り組みやすい定期テスト対策で好成績をとっておけば、精神的な余裕にもなります。



※ハイブリッドスタイル受講者には＜デジタル予想問題＞を配信します。

3 保護者のかたのお子さまを信じたちょっとしたサポート、声かけがお子さまが自信をもって歩める原動力。



『子どもの生活と学びに関する親子調査2015』東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究プロジェクト 中学生4091名の回答より。

お子さま自身も不安のある進路選択。

しかし、それを自分で決めることと同時に、**最も身近な保護者のかたも応援してくれている**、と感じることが、お子さまを最も勇気づけます。

声かけでも、ちょっとした気分転換をさせるでも、**どんな形の応援でも、お子さまが「応援してくれている」と感じる**ことがとても重要です。

不安の高まる時期ではありますが、お子さまにとっては将来を考える絶好の機会。

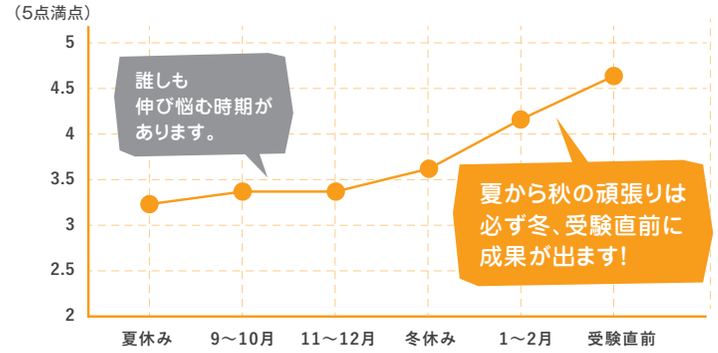
次ページからは「ゼミ」の先輩たちと保護者のかたに中三後半からの巻き返しの軌跡を振り返ってもらいます。

巻き返し学習法

志望校に合格した「ゼミ」の先輩&保護者のかたにきく

データ1 今からの頑張りで、巻き返せる。

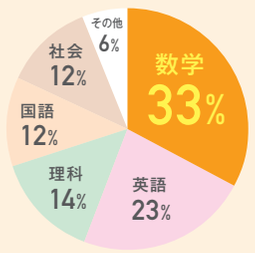
志望校に合格した「ゼミ」の先輩の各時期の自己評価（5点満点）



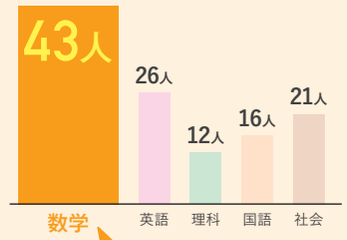
データ2 ニガテ教科こそ、巻き返せる。

＼ 中3生に聞きました。／

Q ニガテな教科は？



Q 受験勉強で一番伸びた教科は？



ニガテな中3生が多い
数学が最も伸びた先輩が多数！

※データはいずれも志望校合格した「ゼミ」の先輩高1生118名のアンケート結果より。

さあ、ここから。

上のグラフの「データ1」を見てください。志望校に合格した「ゼミ」の先輩に各時期の成績を自己評価してもらったものの平均です。秋はなかなか頑張りの成果が表れない場合が多いですが、冬以降一気に伸びていることがわかります。この伸びを実現するには、夏からのまさに「ここから」が勝負。

ただ、今の時期の中3生の悩みの第1位は「受験勉強は何から始めたらいいか」。

そこで、夏以降、力を伸ばし「巻き返して」いった「ゼミ」の先輩たちを紹介します。ぜひお子さまとともにご確認ください。

先輩の中3生時の学校生活は今年度と状況が違う部分がありますが、入試に向けた対策や工夫、お子さまへのフォローに変わりはありません。ぜひご参考になさってください。

「ゼミ」で頑張り、志望校合格🌸

10月の文化祭まで忙しかったけど志望校決定を機に巻き返し！



群馬県／高崎高校
五味（ごみ） 裕貴（ゆうき）先輩

生 徒会活動をしていた五味先輩。そのため10月の文化祭まではバタバタ。そんな五味先輩が志望校合格したポイントなどを振り返ってもらいました。

06ページへ

「ゼミ」で頑張り、志望校合格🌸

「何をやればいいか…」と夏はモヤモヤ。でもニガテ攻略で巻き返し！



奈良県／一条高校
広原（ひろはら） 紗英（さえ）先輩

部 活は引退したけど「何をやればいい？」「ニガテもある」「自分の実力は？」と悩んだ夏。それでもニガテ攻略から始めた結果が夏休み明けに出て…。直前にインフルエンザにもなった広原先輩の振り返りです。

08ページへ

まだまだ先輩たちから！

巻き返しのためのちょっとした工夫！





ゼ ミ」の先輩たちに受験勉強を通して、会得し、実践した「ちょっとした工夫」を教えてもらいました。お子さまとご参考になさってください。

10ページへ

志望校の最終決定は11月。でも、最終的に自分で決めたことが巻き返しの原動力になった！



群馬県／高崎高校 合格
五味 裕貴（ごみ ゆうき）先輩

中学校では吹奏楽部。
高校ではマンドリン部。

2学期になっても行事などで忙しくしてた。

中学校の時の部活は、吹奏楽部。クラリネットを担当していました。中学によっては、引退の遅いところもあるようですが、僕の時は8月頭には引退をしていました。

それでも、**すぐに受験勉強にどっぷり、というようにはなっていませんでした。**その理由の一つには、**志望校をハッキリと自分の中で決め切れていなかった**こともあると思います。

県内のいくつかの公立高校や、私立高校で「芸術コース」のある高校も興味があったのです。

それに、部活を引退したとはいえ、僕は生徒会に入っていたこともあり、**中学生活最後の大行事、文化祭が10月**にありました。その準備で忙しかったこともあります。

ただ、そんな状態でも、今振り返ると、**ニガテな社会（特に歴史）を意識**して、コツコツと暗記をしていたのはよかったなと思います。

11月に志望校を心に決めた。一気に巻き返しへ。

志望校は、候補の高校は、オープンキャンパスなどに行って、それぞれの校風を感じました。

その中で、もともと自分が一番いいなと思っていた**今の高校に「やっぱりココ」と最終決定したのが11月頃。**

ほかの人に比べると少し遅いかもしれません。それでも**自分で志望校を最終決定したことで、より気合いを入れられた**と思います。

塾に通っていなかったので、**冬休みは、丸1日、自分の思い通りに勉強できました。**

結果、第1志望校の今の高校に「前期」(※)で合格できました。

＊　＊　＊

高校では「マンドリン部」に入りました。高校見学で、その音色を聞いて魅せられたのです。

これからいろんな大会もあるし、勉強と両立して、頑張っていきたいと思います。



（※）群馬県の公立高校は「前期」「後期」に分けて選抜。高崎高校の場合「前期」では定員の30%を選抜する

保護者のかたの振り返り

小学生の頃から、**ゲームも好きな子でしたが、受験生の年になっても夢中でやっていることが多く、その点は、少し心配はしていました。**

また、中学校生活のほうも部活引退後も忙しくしていましたね。受験に向け、心配な面はありましたが、本人のペースに任せて見守っていました。

公立高校の**入試当日は、お弁当を持っていくのですが、定番の「カツ」をおかずに添えて、応援**しました。

合格を知った時はほっとしました。

これからの高校生活も焦らず、自分のペースで、自分が選んだ道を歩んでほしいと思っています。

（お母様）

解いた分
力がつくよ！



「ゼミ」がみる巻き返しポイント

- 遅くなっても自分で志望校を心に決めたこと。
- ニガテな社会はコツコツ暗記を進めていたこと
- 冬休みの自学自習。
- お母様の見守り。

五味 裕貴 先輩の巻き返し学習の工・夫・

その1 間違えた問題を解き直す。



受験勉強に本腰を入れ始めた12月頃からでしたが、例えば〈受験チャレンジ〉に取り組んで、間違った問題があったら、その問題文を別の紙に書き写し、再度解き直しました。僕は、本誌に直接書き込むタイプだったので。

これで少しずつ解けない問題が減ったと思います。

その2 長期休みも、学校のある日と同じ時間に起床。



塾に行っていなかったので、冬休みは、自分のやりたい勉強を自由にできる時間でした。

特に意識をした訳ではないですが、その生活リズムは、学校のある日と同じに。同じ時間に起きて、小さい頃から日課になっているピアノを弾いて…と、普段と同じリズムで1日をスタート。

1日を有効に使えたと思います。

「忙しい」「ニガテがある」「このやり方でいい？」――モヤモヤした夏だったけど、ニガテ対策から始めて、少しずつ自信が積み重なって巻き返し。



奈良県／一条高校 合格
広原（ひろはら） 紗英（さえ）先輩

英語が好きで外国語科に挑戦し合格！中学では吹奏楽部で部長をし、高校では箏曲部に入っている。

※先輩が持っている教材は先輩の受講当時のものです。

勉強法に迷った夏。だけど〈合格可能性判定模試〉でわかったニガテを集中学習。

中学では吹奏楽部に入っていて、夏休みにも部活。でも受験勉強も始めないと、と焦りもあって。志望校は決まっていましたが、部活も最後のコンクールに向け忙しい中、まず何からやればいいかわからない。入試レベルの問題を解いても、当然解けない。色々重なり、イライラしていました。

それで**8月号の〈合格可能性判定模試〉を提出し、ニガテ単元がわかった**のです。数学の図形や1次関数、理科の地震など。とりあえずこのニガテから克服しようって。私は塾に行っていなくて「ゼミ」教材や、市販の問題集でニガテに取り組みました。その時点では、この勉強法でいいのかわからずに。

そして夏休み明け。学校の実力テストで、とてもいい点がとれたのです！ **ニガテに取り組むのは、とてもイヤだけど、総合点を上げる一番の近道だと知りました。**

〈受験レッスン〉で9月号から解き直し。夏に解けなかった問題が解けた！

ただ、その後、10月・11月は成績が停滞。それでも**〈受験チャレンジ〉を中心に、わからない所は〈受験レッスン〉の講義を確認する等コツコツやった結果、12月に成績が急上昇。**「やっときた！」って思いました（笑）。

そして冬休みは1日自分で何をやるか考えられるので、やっぱりニガテな数学に重点を置きました。あとは夏休みにやったように、ニガテ単元の克服。中三でできたニガテに取り組みました。三平方の定理や、国語の説明的文章です。

〈受験チャレンジ〉を12月号まで終えたら〈受験レッスン〉で、9月号からできなかった問題に挑戦。すると夏には解けなかった問題が解ける！ 1問解けるごとに自信になりました。



※ハイブリッド受講者に配信

冬休みは午後から勉強を始めましたが、決まって午後3時に母がおやつを持ってきてくれました！「今日は何かな？」と楽しみで頑張れました。夜は問題を解けた状態で終了！ 気持ちよく眠れました。

＊＊＊

頑張ってきたのに、なんと入試本番の前日にインフルエンザに！ その時は泣きました。でも母が中学校の先生と相談してくれ、熱はあったけど、別室で受験に。

結果、合格！ 発表を見た時は足から力が抜けて（笑）。**「最後まであきらめない」ことの大切さを知りました。**そして『中学講座』のハイブリッドでコツコツ頑張ってよかったです。

志望校での生活を楽しみたいと思います。



保護者のかたの振り返り

夏の段階では「部活で忙しい」「何からやればいい？」「自分の実力は？」と、色々な事が重なりイライラしていましたね。

でも**ニガテ克服から始め、夏休み明けの結果がよかったことで「このやり方でいいんだ」と受験勉強の波に乗れたのでは、と思います。**

入試前日にインフルエンザにかかったのは、弟が先にかかりうつったのです。本人は入試日から逆算し12月に予防接種も受けていました。ですが弟には受けさせておらず、家族全員受けておくべきと実感しました。

ただ**こんな不測の事態でも追試や別室受験のような形で受けられる事を知り、最後まであきらめないことが大事だと思いました。**何より、頑張って目指してきた志望校に挑戦できたことが親としてもうれしかったです。

高校では遊びと勉強をメリハリをつけて、楽しんでもらいたい、と思います。

（お母様の幸子様）

広原 紗英 先輩の 巻き返し 学習の工・夫・

その1 〈受験チャレンジ〉中心に、〈受験レッスン〉で確認や解き直し。



〈受験レッスン〉などタブレットでやっていましたが、9月号から届き始めた〈受験チャレンジ〉は、そのまま書き込んで進めました。それでわからない問題は〈受験レッスン〉の講義を見たり、冬休みには〈受験レッスン〉で解けなかった問題に再挑戦しました。





その2 見たいテレビ番組は録画。合格後の楽しみに。



ドラマや映画が好きだけど、受験生活では録画して、後の楽しみに。ただ正月3が日は全てを忘れて例年通りに過ごしました。また勉強の休憩には、「ゼミ」の「まなびライブラリー」で映画のノベライズ本等を読んでリラックスしていました。

最後まであきらめないで！



「ゼミ」がみる 巻き返し ポイント

- 夏にニガテを知り、克服をしたこと。
- 最後まで部活をやり通したこと。
- 間違えた問題を繰り返し解き、自信を積み重ねたこと。
- お母様を始めご家族の二人三脚の応援。

撮影／福田直樹

まだまだ「ゼミ」の先輩たちより

中三後半からの巻き返しに成功した先輩のちょっとした工夫

まずは、その単元の「基礎問題」をクリアするようにした

千葉県／佐倉高校　Y・I 先輩　合格

「ゼミ」の教材でも、市販の問題集でも、単元ごとに「基礎問題」「応用問題」「難問」とレベルが分かれていると思います。

僕は入試では「100点とれなくていい。合格点がとれれば」と考えたんです。

だから入試の大半を占める基礎・応用問題を確実に解けることを重視し、「難問」は取り組まず、とばしました。まず基礎を固めることにしたんです。



「ゼミ」より

Y・I先輩の言う通り、難関高校に合格した先輩ほど「基礎が大事」と口をそろえます。「解ける」を繰り返すことで、受験勉強で大切な自信も積み重なります。

自分で自分に教える「ミニ授業」

埼玉県／越谷北高校　A・T 先輩　合格

特に、社会や理科などの教科だと覚えることが多いので、私は自分で自分に声に出して教えることをしていました（笑）。

たとえば、歴史で、年表を見ながら、「1853年にペリーが浦賀に来て、日本に開国を求めたんだ。そして…」等と声に出して、自分に説明します。声に出すと、勉強のリフレッシュにもなるし、頭に入りやすかったです。



「ゼミ」より

A・T先輩のほかにも「声に出すと覚えやすい」という先輩が多くいました。保護者のかたが問題を出してお子さまが答えるような形で声を出すのも有効でしょう。

明日やる教材を机の上に置いておく

埼玉県／市立浦和高校　N・H 先輩　合格

私は、塾には通っていなくて、学校の授業と「ゼミ」で受験勉強をしました。

私がしていたのは、自分がやろうと思ったものをリストにして紙に書き、机の前にはっておくこと。これは定期テスト前などでもずっとやっていました。



そして夜、勉強が終わったら、明日やる教材を机の上に並べておく。そうすると翌日も迷いなくすぐ取り組むことができました。

あと、これから2学期の定期テストが大事になると思うけど、定期テスト前は受験勉強は休んでテスト勉強に集中するようにしました。

「ゼミ」より

「明日これやろう」という教材を机の上に置いておくだけで、菜月先輩も勉強の取りかかりができたそうです。簡単に取り入れて実行できそうですね。

まとめ

「ゼミ」の先輩たちの体験からわかった巻き返しのための5つの共通点

ゴウカクを願って5個にまとめました

1 授業・定期テスト対策は入試対策の基礎

公立高校でも私立高校でも内申書（点）が重要。少しでも上積みしておくことで有利に。かつ2学期からの単元は学力検査でも重要。

2 忙しい2学期。でも両立の努力が伸びるもと。

中学生活最後の学年。忙しいでしょう。しかし精一杯取り組んだ達成感・経験は必ずラストスパートの根性になります。



3 間違えた問題は繰り返し解く

志望校合格した先輩たちは全員といっていいほど、重要問題を繰り返し解いていました。たくさんの問題にあたることも大切ですが、良問を繰り返し解き、自分に定着させることのほうが重要です。

4 少しずつ朝型に。

受験本番が近づくにつれ、根をつめて夜遅くまで勉強しがちに。ただ入試は朝からですし、授業への集中力にも影響します。夜は無理せず十分睡眠を。睡眠時に覚えたことの整理もされます。だから「寝る前に暗記BOOKを見ていた」という先輩も多いのです。

5 苦しんでいるのは皆いっしょ。苦しんでこそ春がくる！

さあ、ここから！

先輩の工夫もご参考にお子さまにアドバイスなさってください。ここから「ゼミ」とひと頑張り！

最後に

先輩保護者のかたが振り返る 巻き返しを支えたサポートストーリー

「ゼミ」の先輩保護者の方々に、受験期に気を付けたことやエピソードを伺いました。

1日1回の「お茶の時間」と「親の笑顔」を心がけました。

大分県／中津南高校合格　E・H先輩のお母様・R様

うちは3人姉妹。私はいつも一人ずつと毎日必ず少しの時間でもお茶や、おやつの時間をつくり、話をするようにしていました。

特に受験期はそれを意識し、何気ない話から勉強の話、悩みまで何でも自然に話す時間を大切にしていました。受験前の張りつめた気持ちも少し余裕や落ち着きが出たようです。

もう一つは「親の笑顔」。子が帰ってきた時、話しかけてきた時。受験期だからこそ、笑顔を心がけました。

面接の練習は何度もし、姿勢や受け答えなど感じた事を率直に注意しましたが、その時いよいよ前日にも練習しましたが、その時は大いにほめました（笑）。

そして家族一人ひとりから激励の手紙を手渡しました。本人も「お守り」として当日持って行ってくれたようです。そんな励ましも力になっていたなら、私も嬉しく思います。



「ゼミ」より

顔に出さなくても、中三生には誰しもプレッシャーがあります。「お茶の時間」も、「親の笑顔」もご家庭・保護者のかたしかできない支えでしょう。

友達の志望校変更に動揺。この時はじっくり話をききました。

新潟県／三条高校合格　N・K先輩のお母様・M様

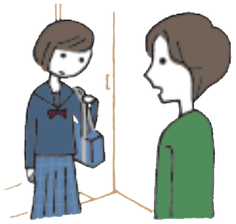
ある日の夕方、学校から帰ってきた娘の様子が変でした。ただその時はすぐに声はかけませんでした。

反抗期は中3から落ち着いていましたが、様子を見て声をかけた方がいいと思ったからです。しかし夜になっても様子がおかしかったので娘の部屋へ。

娘は泣いていました。部活での仲良しのお友達が数人いて「●●高校へ一緒に行こうね」と頑張っていました。しかし、先生との面談の結果、お友達はそろって安全な志望校に変更したそうです。色々な想いがあったのでしょう。私は「それぞれの人生。ずっと一緒じゃない。でもこれで別れる訳じゃない」など約1時間話しました。結局一晩泣いたようです。ただ翌朝は意外に元気に。ふっきれたのか、この後頑張りだしました。

思春期からは基本的には本人に任せていました。ただしその様子をよく「見る」ことは心がけていました。またお友達のお母さんとの連絡も密に。それでこの件も乗り越えられたのかもしれません。

それぞれの志望校合格後も娘たちの友達付き合いは続いています。



「ゼミ」より

誰にも言いづらいことを聞いてもらえ、長い目で見た助言を受ける――。保護者のかたしかできない支えだと思います。

前期で不合格。でも娘の努力を信じ、「後期は大丈夫だから」と家族で励まし。

千葉県／東葛飾高校合格　A・A先輩のお母様・A様



塾に行かず「ゼミ」1本で頑張ってきた娘。定期テスト等は点数がとれるのですが、学力テストや模試ではなかなかとれず、直前の1月に受けた千葉県の模試でも、行きたい高校の合格可能性は20％。

本人も不安になっていたと思いますが、普段コツコツやってる姿を知ってたので「今悪かったから、次はできる。次は大丈夫」など、前向きな言葉で励ましていました。あとは親として、体調だけは整えるよう、生活リズムや栄養に気をつけていました。

前期※では不合格でした。ですが、ここでも娘を信じ「後期は大丈夫だから」と励ましました。本人もあきらめず後期でも同じ高校を受験し合格。あきらめない気持ちや、努力を覚えたのでは、とそのことも含めうれしく思っています。

「ゼミ」より

保護者のかたも不安はあるでしょうが、それを抑え、前向きな言葉での励ましは受験期では特に大切。「大丈夫」のたった3文字で救われたお子さまも数多いでしょう。

※千葉県の公立高校では大きく前期選抜と後期選抜の2回の受験機会があります（2019年度入試）ただし2021年度入試より変更されています。

これから先の受験生活も、体調を含め、心配はつきないでしょう。お子さまが落ち込む場面もあるでしょう。しかし、一番身近な保護者のかたの励ましと見守りは必ず前に進める原動力になります。

家族で支える「巻き返し」

志望校に合格した
「ゼミ」の先輩にききました

受験時代に、保護者のかたにしてもらって今も心に残っていることは？

夜11時くらいまで
自分の部屋で勉強していたら、
お母さんがリビングで起きていてくれた。
一人じゃないんだなって
思って嬉しくなった。
（青森/尾上総合高校/H.M先輩）

黙ってお菓子を焼いてくれて勉強中に持ってきてくれた時
すごくうれしかった。
（北海道/札幌第一高校/A.Y先輩）



点数がなかなか上がらなかった時、
親が**「焦らんと、今まで頑張った自分を信じりゃええんよ」**と
言われて、気持ちが楽になった。
（山口/岩国商業高校/K.Y先輩）

ココアやホットミルクを持ってきてくれたこと。
励まされたし、
良い休憩になった。
（新潟/高田北城高校/M.K先輩）

「ここに行きたい」と決めて
話してみると**「あってるね」と、志望校を決める背中を押してくれた**とき。
うれしかった。
（群馬/沼田女子高校/Y.M先輩）

「あせらずに、自分のペースでやればいいんだよ」と
言われたことがとても嬉しかったし
元気をもらえたよ。
（千葉/習志野高校/H.O先輩）

頑張っているね、と言われてうれしかった。
（青森/尾上総合高校/H.M先輩）



模試の成績が落ちてしまい、
落ち込んでいた時
「大丈夫、大丈夫」と何回も言ってくれたのがうれしかったです。
（東京/北園高校/Y.K先輩）



どんな形であっても、
保護者のかた、ご家族の支えがあってこそ、
お子さまも真に頑張り通せます。
それが**「巻き返し」の原動力**です。

家族で支える
巻き返し成功術

2021年10月1日発行
©Benesse Corporation 2021 Printed in Japan

★この冊子で紹介した教材、サービスのデザイン・名称・内容・お届け月等は変更する場合があります。
★本誌に掲載している情報は断りのない限り2021年7月現在のものです。
★本誌記事の無断掲載、無断使用をお断りします。
デザイン/BACE_C　イラスト/ミヤワキキヨミ　ナガヤマヨシコ
特別協力/「ゼミ」で志望校合格した先輩達と保護者の方々

進研ゼミ 中三受験講座　Benesse